

青 空

第2学年通信 No.68



さあ、再スタートです！

25日(月)首都圏4都県(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)と北海道に出されていた「緊急事態宣言」が解除されました。4月7日(火)に7都道府県に宣言が発令されて、7週間(42日間)という長いトンネルからやっと解除され出口にたどり着いたわけです。と言っても、すぐに元通りの生活リズムに戻れるわけではありません。北海道では緊急事態宣言が解除された25日以降も目安(直近1週間の新規感染者数の0.5人程度以下)を上回る新たな感染者の発生が続き、26日(火)9人・27日(水)5人が確認されました。北海道は1週間26.25人、1日3.75人の換算となります。また、14日(木)に先行解除された福岡県の北九州市では、4月1日(水)の21人をピークに減少し、30日(木)以降0が続いていましたが、今月23日(土)に新たに3人確認され、23日(土)～27日(水)の5日間で計22人確認されました。人口10万人当りの新規感染者数は26日(木)時点で1.49人と目安を大幅に上回っています。「第2波の入り口に立っている。」と危機感を示しています。油断は禁物です！東京都は直近1週間の新規感染者の平均は約8.4人【21日11人・22日3人・23日2人・24日14人・25日8人・26日10人・27日11人：合計59人】です。2日連続2桁の水準で、楽観は許されない状況です。今までと同様に「3密」をさけていきましょう。これからもソーシャルディスタンス(2メートル程度)を守り、マスクを着用し、手洗いを忘れずに心がけていくことが必要不可欠です。

東京都では26日(火)に「ロードマップ」の改訂版が発表され、文教施設はステップ1で休業要請の緩和がなされました。いよいよ再スタートです。別紙プリントでお知らせされたように、学年別に分散登校から始まります。「千里の道も1歩から」という諺と同様に、少しずつ確実に1歩ずつ前進していきましょう。最初は6月第1週の2日(火)から1週間に2回1時間程度(65分間)で始まりますが、第2週・第3週には学校で過ごす時間が増えていきます。まだまだ、学級全員で生活するわけにはいきませんが、給食も10日(水)から開始予定です。

6月2日(火)は登校初日となります。服装は標準服(移行期間なので、冬服でも夏服でもどちらでも良いです。)です。持ち物は、マスク着用、マスクを入れる袋、予備のマスク、健康観察表、筆記用具、上履き、「毎日の記録」、ハンカチ(またはタオル)、ティッシュ、保健調査票、家庭緊急連絡票、生徒連絡票、修学旅行積み立て申込書(未提出者)です。臨時休暇中に出された課題については、各教科毎に最初に授業の時に連絡があります。

手洗いうがい、マスクの着用、咳エチケットなどの基本的な感染症対策を講じての登校です。校舎内に入る前(校庭)に、学年の先生方が健康観察表・体温・体調の確認をします。検温していない人はその時点で検温し、健康観察表に記入してから教室に行くことになります。発熱や体調不良の場合はすぐ保護者に連絡し、保護者に迎えに来てもらい下校となります。無理はしないでください。6月2日(火)皆さんの元気な姿が見れることを今から楽しみにしています。これからです！焦らずに1歩ずつ前進していきましょう！

◎6/1(月)～6/5(金)の家庭学習日の課題について

- ・来週(6/1～6/5)の新たな課題一覧はありません。
- ・今までの課題の見直しと提出準備として、教科ごとに課題をまとめておきましょう。
- ・見直しと提出のためのまとめができた生徒は、各教科の教科書等を読み、授業再開に向けての準備をしましょう。

6月(水無月)

6月(ろくがつ)はグレゴリオ歴で年の第6の月に当り、30日ある。春と夏の境目で、梅雨の季節である。日本では水無月(みなづき)とも言う。ただし、本来は陰暦6月の異称である。英語名ではJuneと言う。ローマ神話のユピテル(ジュピター)の妻ユノ(ジュノ)から取られた。ユノが結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁を「ジューン・ブライド」(June bride、6月の花嫁)と呼び、この月に結婚をすると幸せになれると言われる。しかしながら、少なくともヨーロッパのカトリック教徒の多い諸国では、ギリシャ神話やローマの異教の神々がヨーロッパの人々の生活に影響を与えているというのは考えにくいという説もある。

日本におけるジューン・ブライドは、6月の雨が多くジメジメした薄暗い雰囲気の中で結婚する人が少ない事に困ったブライダル業界が1970年代頃から始めた物であり、それまでは知られていなかった。(日本と違い、ヨーロッパの6月は長い冬が明けて花が咲き始める時季で、世間一般に開放的で明るいイメージが漂う。)

～祝日が存在しない月～

過去にもこの月に祝日が存在したことがない。これは皇室由来の節目の日もなく、庶民の生活も農繁期でハレの行事がなかった点が影響している。一部で時の記念日(6月10日)などの休日化を目指す動きがある。また、沖縄県では沖縄戦の組織的戦闘が終結した6月23日に、沖縄戦の戦死者を弔う「慰霊の日」を設け、地方公共団体の施設の休日としている。過労死弁護団全国連絡会議は労働者の過労死が6月に多いため、厚生労働省に2001年6月8日、祝日のない6月に祝日を新設することを申し入れたことがある。しかし一方で「日本は諸外国より祝日が多すぎる(日本は2006年時点で祝日が16日であるのに対し、アメリカは10日・イギリスは8日・フランスは13日)。これ以上祝日を制定しないでほしい」「祝日にふさわしい日がない」などの理由により、祝日の制定に否定的な意見があり、祝日を所管する内閣府も6月に祝日の設定することを検討していない。なお、1993年には、皇太子徳仁親王と小和田雅子の結婚の儀により、6月9日が休日とされた。

フィクション作品では漫画「ドラえもん」でドラえもんの秘密道具の1つである「日本標準カレンダー」を使って独自に祝日を制定するエピソードがある。漫画版ではのび太が6月に祝日がないことに対する不満から6月2日を「ぐうたら感謝の日」という架空の祝日を制定したことがある。アニメ版では2014年6月13日放送「たけしのズンドコ誕生日」でジャイアンが6月13日は「昼寝の日」、6月15日は「ジャイアンの誕生日」も祝日に制定された。